

ガーベラの出荷規格を  
確認する部会員ら



## ガーベラ40種 規格しつかり

三重・JA伊勢

【三重・伊勢】JA伊勢洋花部会は1月下旬、ガーベラの目ざろえ会を、伊勢市植山町の同JA花卉（かき）集出荷施設で開いた。生産者が持ち寄った品種ごとに、約40品種の

出荷規格を確認した。同JAの担当者は、市場情勢と3月の販売について報告をした。3月は、卒業式などの需要期に入る一方、気温が上昇する時期でもあるため、ハウス内の環境と採花後の調製作業には十分に注意をするよう注意を呼びかけた。同JA担当者は

「品質や規格をしつかりと統一し、市場や消費者の期待に応えられるよう、引き続き、安定した生産量と高品質なガーベラの生産に努めてほしい」と訴えた。目ざろえ会は、部会全体の品質向上や生産に対する意識の統一、情報交換を目的に毎月1回、開いている。